



すずしろ22 2023 4月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況

3月の援農集計

	援農時間 (h)	参加人数 (人)	参加延べ人数 (人)	農家数 (軒)	累計援農時間 (h)	累計参加延べ人数 (人)
2023年3月	1,875	66	516	23	5,006	1,399
2022年3月	1,550	55	426	21	4,349	1,170
増減	+325	+11	+90	+2	+657	+229

3月の援農は、1,875時間となり、前年比で325時間の増となりました。例年よりも春の訪れが早く、その分畑作業の開始も早まり、また援農時間も増えました。3月は暖かい日が多くなり、はこべやほとけのざの草取りに続き、菜花やほうれん草などの収穫、カボチャの種まき、里芋の植え付け等の援農作業が行われました。

「安全援農」に向けての3つの身を守ろう運動

- ① 交通事故から身を守ろう ② 熱中症から身を守ろう ③ 紫外線から身を守ろう

- ① 『安全PR』欄をご覧ください。
- ② 25度を超える夏日や30度を超える真夏日の予報が出てようになってきました。暑熱順化（体が暑さに慣れること）ができていないこの時期、熱中症にも要注意です。今から、こまめな水分補給を習慣つけて行きましょう。
- ③ 紫外線量は3月から急激に増え始めます。1日の中では、10時から14時頃までが最も強くなります。肌の老化予防策として、帽子やUV対策された作業着の着用等十分な紫外線対策を行ってください。（援農サポータ北尾）

理事会報告

4月度理事会 (4/20(木) 17:30~20:30 台町市民センターにて。6名)

- ① イベントの計画（料理教室、ジャガイモ掘り、ホテル観賞会）
- ② 農福連携について、何を行うか等を協議。継続審議とした。
- ③ 会報配信の問題点と対策：名簿の整理をする。会のアドレスを作成し、配信とすることとし、準備を開始する。
- ④ イベントの収支の考え方について：安全と満足感を第一に考える。



事務局より

- ① 6月報に『会員の声』を特集します。会の活動について感じたことや援農への思い、ご意見をお寄せください。
- ② メールアドレスを変更された場合は、事務局にお知らせください。
宛先：飛田恵美子 (emiko_tobita@ybb.ne.jp、070-4449-2641)



安全PR

『ててて!とまって!』

例年4月に行なわれる春の交通安全運動、今年は5月11日(木)~20日(土)に行われます。今年の交通安全目標は、下記の3つとなります。

- ・子供をはじめとする歩行者の安全確保
- ・横断歩行者事故の防止
- ・自転車のヘルメット着用



車の運転では、常に歩行者優先を心掛け、安全運転をお願いします。真新しいランドセルを背負った子供たちが目立つこの時期は、子供たちもまだ不慣れで、さらに注意が必要です。横断歩道で子供たちから「ててて!とまって!」の合図があったら、しっかり車を止め子供たちの横断を見守りましょう。「思いやり・ゆずりあい」が交通事故からみんなの身を守ります。（援農サポータ/北尾）

イベントのお知らせ

① ホタル観賞会

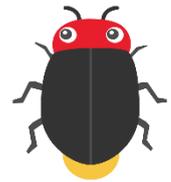
会員の交流・親睦を兼ねたホタル観賞会を催します。裏高尾小仏川のほとりで初夏の夕べを楽しみましょう。

日時：6/16(金) 17:30~20:30 雨天：決行

場所：高尾梅の郷まちの広場 管理棟（八王子市裏高尾町 915 番地外）

会費：大人 500 円、こども(小・中学生)400 円、幼児無料

申込：6/12(月)迄 飛田恵美子(070-4449-2641、emiko_tobita@ybb.ne.jp)



② 「夏の地場野菜を使った料理会」

日時：6/25(日) 11:00~14:00

会場：大横保健福祉センター（コニカミノルタサイエンスドーム向かい側）

参加費：1500 円

メニュー：枝豆ごはん、鱈と夏野菜のマリネ、新じゃがのジェノベーゼ、ひじきの梅しそ和え、ヨーグルト寒、ミニトマトのシロップ煮

持物：バングナ、エプロン、布巾、マスク

定員：先着 16 名

申込：6/20(火)迄 佐藤瑞恵(ショートメール：090-4912-2117、

Email：mizue06230415@yahoo.co.jp)



③ ジャガイモ掘り

大人も子供も土に触れ、収穫の喜びを味わいませんか。じゃがいも代 250 円/kg。

日時：7/1(土)10時~12時。雨天の場合は7/8(土)に延期。

集合：石川農園（八王子市高月町 1160）に 10 時。

定員：8 組（駐車場 8 台分有）

参加費：すすしろ 22 会員無料、会員外の小学生以上 100 円、未就学児無料

持ち物：飲物、じゃが芋を入れる袋や段ボール箱等、汚れても良い靴、手袋など

申込：6/25(日)迄 糠信栄里(ショートメール：090-2218-8892、

Email：nijiro.happy.happy.everyday@gmail.com)



農園だより

★刈払機の取り扱い講習会を行います。

- ・場所：富所農園（加住町 1 丁目 39 第二偕楽園西隣）
- ・日時：5/14(日)10時~12時（雨天時は 21 同時間に）
- ・申込/問合せ：清水（080-3347-6491、akkait@ymobile.ne.jp）

★右の写真は久保山農園のシバザクラです。2 年前に定植し、きれいに咲き揃いました。見に来てください。



野草あれこれ

ナガミヒナゲシ(長実雛芥子)

ケシ科ケシ属

地中海沿岸原産の一年草または越年草。1961 年に東京で最初に見つかり、最近では各地の道ばたに普通に見られる。全体に毛が生える。葉は 1~2 羽状深裂で、根生葉は 3 出状になる。花は径約 5cm、春から初夏、茎頂・枝先に単生する。つぼみの時は下を向いているが、開花時に直立し、2 枚の萼片が脱落して開花する。花弁は十字対生する 4 枚で朱赤色。めしべは花柱がなく、柱頭は円盤形で 4~8 本の放射条がある。蒴果は長卵形で無毛、熟すと薄茶色になり、先端の円盤の下に隙間が出来、隙間から種子がこぼれ落ちる。根からアレロパシー物質を出し、他の植物の芽生えを阻害する。ケシと同じ仲間だが、ポピーやひなげしと同じく阿片の原料物質は含んでいない。名前の由来は子房が細長い円柱形であることから。ケシの実のように、実を食べることができる。

